

〔研究論文〕

生徒の社会的能力を育成する心理教育プログラム「SEL-8S」の効果的活用  
ープログラム導入期における中学校第1学年での試行と若手教員の変容ー

Effective practice of SEL-8S program to develop students' social and emotional competence:  
A trial for 7th graders in the implementation and young teachers' changes in teaching skills

井本 泰子

Hiroko IMOTO

福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻  
生徒指導・教育相談リーダーコース/  
粕屋町立粕屋中学校

小泉 令三

Reizo KOIZUMI

福岡教育大学教職実践講座

(2015年1月30日受理)

本研究は、生徒の社会的能力を育成し学校適応を促進するために、公立中学校の第1学年生徒(242名)を対象に、心理教育プログラム「SEL-8S」を導入し、試行的に実践を行った事例である。基礎的な社会的能力育成を目指すユニットを選択し、学校行事と関連付けた授業実践を3ヶ月間に5回実施した。その後3週間のスキル再強化期間を設定し、帰りの会でスキルの活用について自己評価活動を行い、プログラム実施の効果を検証した。教員に対しては、体験型の研修を行い授業の進め方や日常の指導への活かし方等を支援した。特に、生徒への指導を通じた若手教員の社会的能力及び指導効力感の変化についても検証した。事前の生徒自己評定を基に、高・中・低の3群に分けて分析した結果、生徒の社会性の自己評定で低群の生徒の得点の上昇が見られた。しかし学級適応感の上昇にまでは至らなかった。若手教員(6名)の自己評定においては、社会的能力及び指導効力感の得点の上昇が見られた。

キーワード：学校適応，社会性と情動の学習，SEL-8S，スキル再強化期間，教員の指導力

## 1 問題と目的

知識基盤社会の時代と言われる社会構造の変化の中で、「生きる力」をはぐくむという理念は、ますます重要になってきている。確かな学力の育成において、河村(2010)は、「凝集性のある親和的な学級集団作りは、学力向上の必要条件である」と述べている。子どもの社会的能力の不足や欠如が指摘される中、望ましい人間関係を子どもが作り上げていくように援助することは急務の課題であり、現行の学習指導要領(文部科学省, 2008)では、児童生徒相互の望ましい人間関係づくりが重視されている。「福岡県いじめ問題総合対策」(福岡県教育委員会, 2007)でも、「豊かな人間性を育む教育の推進」の中で、人間関係形成や社会性に関する技能に特化した指導を行ったりする等の

取り組みの必要性が述べられている。

学校では、学級集団を対象にした児童生徒の社会的能力を育成する様々な心理教育プログラムの取り組みが行われ、児童生徒にとって有効な方法であることは実証されてきている。心理教育プログラムを活用し、計画的・組織的に児童生徒の社会的能力を育成することは、学校適応を促進し学力向上や問題行動の減少につながると考えられる。

小泉・山田(2011)は、幅広い観点での取り組みとして、児童生徒の社会的能力の育成に関する多くの心理教育プログラムを包括する形での教育実践の必要性を述べ、社会性と情動の学習(Social and Emotional Learning, 以下 SEL)の導入を提唱している。これは「自己の捉え方と他者との関わり方を基礎とした社会性に関するスキル、態度、価値観を身に付ける学習」と定義され、学校教育全体をSELの枠組みに含むことが可能であるとし

ている。

SEL 中の特定プログラムである SEL-8S (Social and Emotional Learning of 8 Abilities at the School) プログラムでは、学校における対人関係において、汎用的で日常の様々な場面で必要となる能力を 8 つに分類し (表 1)、これらをバランスよく児童生徒に習得させることを目的としている。

SEL-8S プログラムの先行実践から、香川・小泉 (2007) は継続的・系統的な積み上げが必要であること、宮原・小泉 (2009) は学校行事と関連づけて実施することで、プログラムの実施効果があること、また、学習したスキルや態度の強化・一般化のために、学習した内容を日常の教育活動に位置づけ効果的に展開させていくための工夫が必要であることを述べている。活動内容の一般化の重要性については、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなどの先行研究でも指摘されている課題である。しかしながら、スキルや態度の強化・一般化のための具体的な方法を示した報告は少ない。

加えて、中央教育審議会 (2012) によると、今後 10 年間に公立小中学校の正規教員のうち約 35.6%、20 万人の教員が退職し、経験年数の短い教員が大量に誕生する。それにより教員の職能成長と実践的指導力の向上が課題として浮上しているが、若手教員への個別の支援の事例 (升野・小泉, 2013) はあるものの、心理教育プログラムの実施における教員の指導力向上のための研修の在り方についてはほとんど検討されていない。

そこで心理教育プログラム「SEL-8S」の実践を、生徒の社会的能力の向上と、教員の指導力の向上の両面から検討し、より効果的な活用の在り方を究明することが必要であると考え、次のような仮説を立てた。

①心理教育プログラム「SEL-8S」を学校行事等と関連づけて試行し、行事後にもスキル再強化期間を設定してスキルの強化・一般化を図れば、生徒の社会的能力が高まり、学級適応状態も向上するであろう。

②心理教育プログラム「SEL-8S」の導入にあたり授業の実施と授業後の実践的な指導法について支

援を行えば、若手教員の社会的能力および、日常の指導力向上につながるであろう。

## 2 方法

(1) 調査期間：平成 26 年 6 月～平成 12 月

(2) 調査対象：福岡県内の公立中学校 1 校の第 1 学年 6 学級の生徒 (242 名) と第 1 学年の教員 10 名 (そのうち若手教員を教職経験 1～3 年の 5 名と 8 年目の 1 名の計 6 名の教諭・講師とした。)

(3) 評価尺度

①質問紙

a. 中学生版「社会性と情動」尺度 (生徒自己評定)

SEL-8S の 8 つの能力を測定する中学生用の尺度で 8 因子 (表 1 の①～⑧) 40 項目について、4 件法 (4～1 点) で回答を求め、因子ごとの得点を平均値と標準偏差から算出される偏差値で示した。

b. 中学校用規範行動尺度 (生徒自己評定)

山田・小泉・中山・宮原 (2013) が開発した尺度。決められたルールや約束を守ろうとする意識を対人的規範向上、対人的規範遵守、個人的規範遵守の 3 因子 15 項目について測定するもので、4 件法 (4～1 点) で回答を求め、因子ごとの得点を平均値と標準偏差から算出される偏差値で示した。

c. 「社会性と情動」尺度 (教師による個人評定)

中学生版 SEL-8S 能力尺度に従って、生徒の社会性を支える 8 つの能力 (表 1 の①～⑧) の測定を 1 学級のみ学級担任による教師評定によって行った。評定に際しては中学生用尺度の下位尺度ごとの項目を示して評価の基準とし、生徒ごとに各能力について 5 件法 (5～1 点) で評定を求めた。

d. hyper-QU 学級満足度尺度 (生徒自己評定)

児童生徒の学級生活における満足度を測る尺度。児童生徒が、自分の存在や行動が級友や教師から承認されているか否かを示す「承認得点」と、不適応感やいじめ・冷やかしなどを受けているかを示す「被侵害・不適応得点」の 2 つの得点を、全国平均と比較して 4 つの群に分類する (河村, 2004)。承認感、被侵害感それぞれ 10 項目について 5 件法 (5～1 点) で回答を求めた。

e. 教師用社会性と情動尺度 (教師自己評定)

SEL の 8 つの能力を参考に山下・小泉 (2013) が作成した尺度を改良し、SEL の 8 つの因子 23 項目について 5 件法 (5～1 点) で回答を求めた。これら以外に、日常の指導力 (学習指導、生徒指導、学級経営) に関しても 1 項目ずつで尋ねた (5 件法)。

f. SEL の指導効力感尺度 (教師自己評定)

「あいさつ」「自己理解」「聞き方」「伝え方」「ト

表 1 SEL-8S でめざす 8 つの社会的能力

|           |  |
|-----------|--|
| 基礎的な社会的能力 | ①自己への気づき<br>②他者への気づき<br>③自己のコントロール<br>④対人関係<br>⑤責任ある意思決定 |
| 応用的な社会的能力 | ⑥生活上の問題防止のスキル<br>⑦人生の重要事態に対処するスキル<br>⑧積極的・貢献的な奉仕活動       |

ラブル解決」「ストレス対処」の6つの指導事項12項目について、どの程度自分の身についていると思われるかを、5件法(5~1点)で回答を求めた。g. SEL-8Sプログラムの取り組みについてのアンケート(教師自己評定)

日常生活における指導の頻度について、アンケートを自作した。「道徳的講話」「チェックシートの活用」「実践の紹介」「生徒への承認」「低群の生徒へのアドバイス」「モデリング」の6項目について、4件法(4~1点)で回答を求めた。

②記述

h. 職員研修の感想

8月の2回の職員研修の際に、研修の感想を自由記述で求めた。

i. 授業のワークシート(生徒)

授業②, ③, ④(後述)実施時と強化期間後に、自由記述による感想を求めた。

j. 学年会での発言記録

教員の発言を、第一著者がノートに書き留めた。

(4)実施の手続き

表2の通り実施した。

①評価

a, bは、事前、事後、強化後の3回、c, d, e, fは、事前、強化後の2回、gは事後の1回実施した。生徒自己評定は、帰りの会の時間に行った。

表2 授業および研修・評価実施一覧

| 月日       | 活動                   | 内容・SEL-8Sユニット                 |
|----------|----------------------|-------------------------------|
| 6月6日     | 第1回hyper-QU          |                               |
| 6月20日    | 事前アンケート              |                               |
| 8月5日     | 職員研修①                | SEL-8Sの理解                     |
| 8月26日    | 職員研修②                | 実践①②の模擬授業                     |
| 9月1日     | 授業実践①                | (A1) あいさつ<br>《短学活》 「どうぞよろしく」  |
| 9月3日     | 授業実践②                | (B1) 他者理解<br>《総合》 「“聞く”と“聴く”」 |
| 9/9~11   | ふれあい合宿               |                               |
|          | グループワークトレーニング「なぞの宝島」 |                               |
| 9月26日    | 学年会                  | 実践③の内容研修                      |
| 9月30日    | 授業実践③                | (C4) 感情伝達<br>《短学活》 「冷静に伝える」   |
| 10月2日    | 学年会                  | 実践④の内容研修                      |
| 10月9日    | 授業実践④                | (D2) 問題解決<br>《学活》 「友達が怒っちゃった」 |
| 10月23日   | 学年会                  | 実践⑤の内容研修                      |
| 10月24日   | 文化発表会                |                               |
| 10月29日   | 授業実践⑤                | (A3) 時間管理<br>《学活》 「時間を大切に」    |
| 11月13日   | 学年会                  | スキル強化期間について                   |
| 11月14日   | 定期考査                 |                               |
| 11月14日   | 事後アンケート              |                               |
| 11/17~28 | スキル再強化期間             |                               |
| 12/8~12  |                      |                               |
| 12月10日   | 第2回hyper-QU          |                               |
| 12月17日   | 強化後アンケート             |                               |
| 12月24日   | 学年会                  | 取り組みの振り返り                     |

②職員研修

平成26年8月に、全教員を対象に2回の研修会を実施した。この中学校では、「共同学習」を取り入れた授業づくりを通して、生徒の社会力の育成に取り組んでいる。その基盤作りとして、SEL-8Sプログラムの導入を試みた。1回目の研修会では、導入のねらい、試行内容及び期間についての説明と、事前のアンケートの集計結果の返却、SEL-8Sのユニットの体験を取り入れた。2回目の研修会では実践予定のユニットについて模擬授業を行った。

③授業実践への支援

心理教育プログラムの実践を効果的に活用するために、基礎的な社会的能力育成を目指すユニットを選択し、学校行事(ふれあい合宿、文化発表会、定期考査)と関連付けて授業実践を位置付けた。

授業の実践者は担任としたが、副担任には授業を参観することを義務付け、学年教員、教科担当者としての積極的な関わりを意識してもらった。

授業①, ②の実施にあたっては、職員研修会で模擬授業を行った。授業③, ④の実施にあたっては、第1著者が1学級で授業を行い若手教員に参観してもらった。その他にも板書計画の提示、ワークシートの作成など1学年の教員に授業実践への支援を行った。さらに、授業後のワークシートにコメントをつけて返却したり、学級通信を作成したりするなどして生徒へのフィードバックの方法を示した。若手教員の授業を参観し、指導方法や事後の指導への活かし方を助言した。

④環境づくり

授業で学んだスキルを示したポスターを作成し、各教室に掲示してもらい、生徒に意識化させて学習内容の強化・般化を図った。学年掲示板にも縮小版のポスターを掲示した。

⑤スキル強化

定期考査終了後の3週間(2週間+1週間)を、これまでに学習したスキルを復習的に強化・般化を図る再強化期間とした。生徒には、これまで学んだスキルを習慣として身に付けることを目標に、帰りの会でスキルの活用について自己評価を行った。再強化期間終了後にも自由記述でSEL-8S学習の振り返りを求めた。教師には、朝の会や帰りの会でスキル・態度に関連した道徳的価値を含んだ話を週1回以上する、授業などの日常生活場面での生徒の行動を意識的に観察し、望ましい行動を承認する、スキルが上手く使いこなせていない生徒にアドバイスをするなどの行動目標を設定し、教師が意識して生徒のスキル・態度の般化・強化を促す期間とした。なお、再強化期間の初日に生

徒に話す内容は第1著者が例文を作成し、各担任の足並みが揃うようにした。

### 3 結果

本研究では、生徒アンケートについては、5回のプログラムが実施された5学級で、欠席等でデータに欠損のある生徒を除き集計を行った。

#### (1) 事前アンケート

生徒自己評定により、8つの社会的能力を調査対象者全員の平均点と標準偏差を基に算出した偏差値で示した。規範意識は、複数校の同学年の平均点と標準偏差を元に算出した偏差値で示した。いずれも平均値においては、能力のバランスが整った状態であり、学級間に大きな格差は見られなかった。しかし個人の結果を見ると、個人内の能力のバランスがとれていない生徒がいた。

hyper-QU 学級満足度尺度の学級タイプの結果は、「親和的なまとまりのある学級集団」1学級、「かたさのある学級集団」2学級、「学級内の規律と人間関係が不安定な状態」2学級であった。

8つの社会的能力の事前の偏差値の平均の上位1/3を初期高群(61人)、下位1/3を初期低群(60人)、中間位を初期中群(58人)とし、群ごとの学級満足度尺度のプロット位置の分布を図1に示した。社会的能力が低い群ほど、満足群に属する割合は低くなり、学級生活満足度の低い生徒の割合が増えることから、生徒の社会的能力を向上させるために、SEL-8Sプログラムを導入することの必要性を確認できた。

#### (2) 職員研修後のアンケート

若手教員の感想は、表3のようなものであった。SEL-8Sプログラムに関心を示し、実践への意欲を持ったことがわかる。

#### (3) 社会的能力と規範意識の生徒自己評定

SELの8つの社会的能力と規範意識について、初期高低群ごとに、3回の調査結果を偏差値の平均で算出した。さらに、初期高低群(高群/中群/低群)×時期(事前/事後/強化後)の分散分析を行った結果を表4に示した。

その結果、社会的能力については、全体的に高群で事後に低下し強化後に回復する傾向にあること、低群は「自己への気づき」「他者への気づき」「対人関係」「責任ある意思決定」において、事後・強化後に有意に上昇していることがわかった。規範意識については、高・中・低群とも事後に低下し、強化後に回復する傾向にあるが、「対人的規範遵守」において、高群と低群には事後から強化後

の上昇に有意傾向があることがわかった(図2)。

#### (4) 教師による社会的能力の個人評定

事前・強化後の2回調査し、生徒の自己評定初期高低群ごとに、得点の平均値を算出した。さらに、初期高低群(高群/中群/低群)×時期(事前/強化後)分散分析を行った結果を表5に示した。

「他者への気づき」では事前には群間に有意な差があったが、強化後は低群が上昇し、高群・中群との有意差がなくなった。しかし、応用的な社会的能力である「人生の重要事項に対処する能力」では、強化後に、低群が低下し、高群・中群との差が有意になった(図3)。

#### (5) 学級適応感と、社会的能力および規範意識の自己評定の変化

事前と強化後でhyper-QUのプロット図を比較すると、学年全体では集団の凝集性が高まった結果には至らなかった。しかし学級ごとに見ると、2学級が「かたさのある学級集団」、「学級内の規律と人間関係が不安定な状態」から、「親和的なまとまりのある学級集団(以下、親和型学級)」へと成長していた。親和型学級の2学級と、それ以外の3学級の間で、初期高低群のそれぞれの生徒の「基

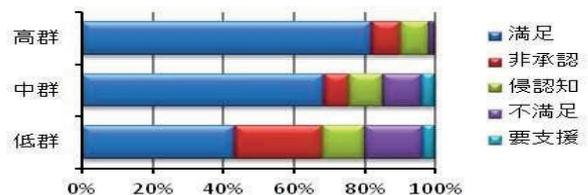


図1 事前の学級満足度群の分布

表3 職員研修の感想

- SEL-8Sを自分の学級で行いたいと思いました。そのためには、実施した後の担任の動きが重要なポイントだと思います。
- 学級経営・授業経営の中で役立つ内容もたくさんあり、人間関係形成力の要にできる存在だと思いました。
- 生徒間のトラブルは、強い指導だけではたちごっこになっているのが現状ですので、今回のような研修は、とっも勉強になりました。
- 活用次第で生徒を内面から育てられるだけでなく、生徒-教師間のコミュニケーションのきっかけにもできるようになりました。
- 実際に行ってみて、生徒側として楽しめました。「冷静に伝える」という実践では、まさに生徒に身につけて欲しい力だと思います。すぐに身につく力ではないと思うけれど、小さな積み重ねが子供たちにしみわたればと思います。
- 「心の信号機」すぐにでも実践したいと思いました。(自分にも子どもにも)
- 2学期の実践が不安だったので、一度自分たちでやれて良かったと思うし、いろいろな意見を聞いて参考になりました。

表 4 生徒自己評定の平均値と SD および分散分析結果

|                | 初期高低群 | 人数 | 事前            | 事後            | 強化後           | 主効果:初期高低群(A)<br>(df=2/358) | 主効果:時期(B)<br>(df=2/358) | 交互作用:A×B<br>(df=4/358) |
|----------------|-------|----|---------------|---------------|---------------|----------------------------|-------------------------|------------------------|
| SEL8つの能力尺度     |       |    |               |               |               |                            |                         |                        |
| 自己への気づき        | 高群    | 63 | 54.39 (3.51)  | 50.82 (5.89)  | 53.70 (4.95)  | 48.12 **                   | 7.02 **                 | 4.30 **                |
|                | 中群    | 56 | 50.56 (3.86)  | 48.55 (5.66)  | 49.98 (5.28)  |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 45.26 (6.17)  | 46.51 (5.86)  | 47.51 (5.90)  |                            |                         |                        |
| 他者への気づき        | 高群    | 63 | 55.33 (3.76)  | 51.67 (6.56)  | 53.46 (5.15)  | 44.72 **                   | 2.45 +                  | 6.64 **                |
|                | 中群    | 56 | 51.28 (4.37)  | 50.54 (5.17)  | 50.52 (6.38)  |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 44.31 (6.39)  | 45.95 (6.86)  | 46.80 (6.68)  |                            |                         |                        |
| 自己のコントロール      | 高群    | 63 | 55.31 (3.29)  | 50.48 (5.43)  | 53.75 (5.60)  | 63.64 **                   | 10.65 **                | 5.23 **                |
|                | 中群    | 56 | 49.64 (4.88)  | 48.26 (6.43)  | 48.89 (5.83)  |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 44.97 (5.37)  | 45.08 (5.18)  | 46.68 (4.86)  |                            |                         |                        |
| 対人関係           | 高群    | 63 | 55.22 (3.70)  | 52.20 (5.40)  | 54.48 (5.87)  | 44.36 **                   | 6.30 **                 | 6.29 **                |
|                | 中群    | 56 | 49.81 (4.71)  | 50.26 (6.03)  | 50.90 (5.24)  |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 44.77 (5.72)  | 46.60 (5.94)  | 48.06 (6.42)  |                            |                         |                        |
| 責任ある意思決定       | 高群    | 63 | 55.33 (3.95)  | 52.29 (5.71)  | 55.08 (5.82)  | 83.15 **                   | 6.16 **                 | 3.74 **                |
|                | 中群    | 56 | 50.45 (4.57)  | 49.10 (5.30)  | 50.58 (5.51)  |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 44.39 (5.55)  | 45.86 (5.68)  | 46.73 (4.75)  |                            |                         |                        |
| 生活上の問題防止スキル    | 高群    | 63 | 54.31 (5.47)  | 53.06 (5.06)  | 54.35 (4.62)  | 24.21 **                   | 7.54 **                 | 1.24                   |
|                | 中群    | 56 | 50.54 (6.30)  | 49.49 (8.36)  | 51.49 (7.38)  |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 45.80 (7.91)  | 46.04 (7.21)  | 48.46 (7.83)  |                            |                         |                        |
| 人生の重要事態に対処する能力 | 高群    | 63 | 53.54 (4.58)  | 50.43 (7.02)  | 52.69 (5.97)  | 19.28 **                   | 0.94                    | 4.25 **                |
|                | 中群    | 56 | 50.46 (4.98)  | 50.04 (5.53)  | 49.65 (5.92)  |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 45.71 (6.47)  | 47.34 (6.72)  | 47.05 (7.83)  |                            |                         |                        |
| 積極的・貢献的な奉仕活動   | 高群    | 63 | 54.93 (3.50)  | 51.19 (7.10)  | 53.05 (5.53)  | 29.03 **                   | 5.99 **                 | 3.88 **                |
|                | 中群    | 56 | 50.77 (5.06)  | 50.14 (6.61)  | 49.82 (6.49)  |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 45.45 (7.53)  | 45.16 (6.67)  | 46.54 (7.51)  |                            |                         |                        |
| 規範意識           |       |    |               |               |               |                            |                         |                        |
| 対人的規範向上        | 高群    | 63 | 61.58 (6.10)  | 57.90 (7.98)  | 59.10 (8.23)  | 47.23 **                   | 6.91 **                 | 1.98 +                 |
|                | 中群    | 56 | 53.20 (9.23)  | 50.46 (8.29)  | 53.38 (9.92)  |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 44.49 (11.45) | 44.07 (11.88) | 46.39 (12.48) |                            |                         |                        |
| 対人的規範遵守        | 高群    | 63 | 59.48 (7.97)  | 54.66 (9.08)  | 57.45 (8.75)  | 36.20 **                   | 16.88 **                | 2.28 +                 |
|                | 中群    | 56 | 52.41 (8.20)  | 49.40 (8.63)  | 51.32 (9.62)  |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 44.67 (10.56) | 42.97 (9.98)  | 46.52 (9.67)  |                            |                         |                        |
| 個人的規範遵守        | 高群    | 63 | 58.11 (7.79)  | 53.79 (8.86)  | 57.38 (7.36)  | 33.76 **                   | 15.72 **                | 0.84                   |
|                | 中群    | 56 | 51.41 (9.59)  | 47.59 (9.59)  | 50.15 (11.01) |                            |                         |                        |
|                | 低群    | 63 | 44.90 (9.89)  | 42.63 (10.98) | 46.39 (10.78) |                            |                         |                        |

+ p<.10, \* p<.05, \*\* p<.01,

表 5 教師評定の平均値と SD および分散分析結果

|                | 初期高低群 | 人数 | 事前          | 強化後         | 主効果:初期高低群(A)<br>(df=2/34) | 主効果:時期(B)<br>(df=2/34) | 交互作用:A×B<br>(df=2/34) |
|----------------|-------|----|-------------|-------------|---------------------------|------------------------|-----------------------|
| SEL8つの能力尺度     |       |    |             |             |                           |                        |                       |
| 自己への気づき        | 高群    | 15 | 3.40 (0.80) | 3.33 (0.70) | 2.61 +                    | 0.64                   | 0.95                  |
|                | 中群    | 13 | 3.54 (0.50) | 3.62 (0.63) |                           |                        |                       |
|                | 低群    | 9  | 3.00 (1.05) | 2.78 (0.92) |                           |                        |                       |
| 他者への気づき        | 高群    | 15 | 3.40 (0.61) | 3.40 (0.80) | 2.77 +                    | 0.76                   | 4.36 *                |
|                | 中群    | 13 | 3.54 (0.63) | 3.39 (0.63) |                           |                        |                       |
|                | 低群    | 9  | 2.67 (0.94) | 3.00 (0.67) |                           |                        |                       |
| 自己のコントロール      | 高群    | 15 | 3.27 (0.77) | 3.33 (0.79) | 1.64                      | 1.76                   | 2.63 +                |
|                | 中群    | 13 | 3.62 (0.49) | 3.54 (0.50) |                           |                        |                       |
|                | 低群    | 9  | 2.89 (0.99) | 3.11 (0.99) |                           |                        |                       |
| 対人関係           | 高群    | 15 | 3.20 (0.75) | 3.27 (0.93) | 2.25                      | 0.57                   | 1.44                  |
|                | 中群    | 13 | 3.31 (0.46) | 3.54 (0.50) |                           |                        |                       |
|                | 低群    | 9  | 2.78 (1.13) | 2.67 (1.16) |                           |                        |                       |
| 責任ある意思決定       | 高群    | 15 | 3.13 (0.72) | 3.20 (0.75) | 1.53                      | 2.25                   | 1.08                  |
|                | 中群    | 13 | 3.08 (0.47) | 3.31 (0.61) |                           |                        |                       |
|                | 低群    | 9  | 2.78 (0.63) | 2.78 (0.63) |                           |                        |                       |
| 生活上の問題防止スキル    | 高群    | 15 | 3.27 (0.68) | 3.33 (0.79) | 1.35                      | 0.05                   | 0.83                  |
|                | 中群    | 13 | 3.54 (0.63) | 3.69 (0.46) |                           |                        |                       |
|                | 低群    | 9  | 3.56 (0.50) | 3.22 (0.79) |                           |                        |                       |
| 人生の重要事態に対処する能力 | 高群    | 15 | 3.07 (0.68) | 3.47 (0.81) | 4.03 *                    | 0.17                   | 7.94 **               |
|                | 中群    | 13 | 3.15 (0.53) | 3.31 (0.61) |                           |                        |                       |
|                | 低群    | 9  | 2.78 (0.63) | 2.33 (0.94) |                           |                        |                       |
| 積極的・貢献的な奉仕活動   | 高群    | 15 | 3.27 (0.68) | 3.40 (0.61) | 3.64 *                    | 2.03                   | 0.52                  |
|                | 中群    | 13 | 3.31 (0.46) | 3.46 (0.50) |                           |                        |                       |
|                | 低群    | 9  | 2.78 (0.63) | 2.78 (0.79) |                           |                        |                       |

+ p<.10, \* p<.05, \*\* p<.01

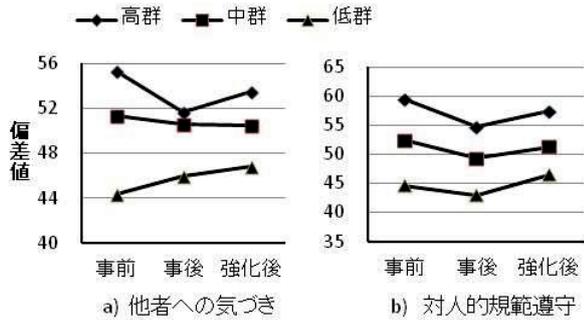


図2 社会的能力と規範意識の生徒自己評定

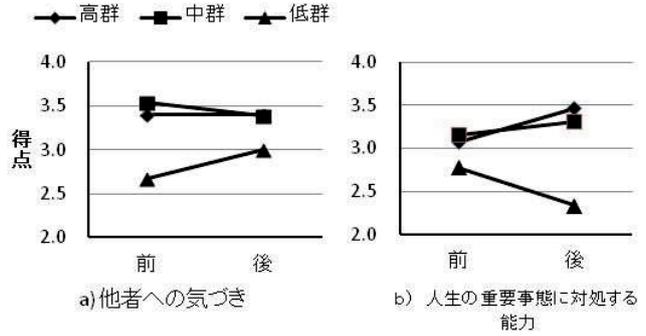


図3 社会的能力と規範意識の教師による個人評定

表6 適応感の変化に基づく学級区分と生徒自己評定の伸び

|                     | 初期<br>高低群 | 人数 | 事前と強化後の差      | 主効果:                  | 主効果:                   | 交互作用<br>A×B<br>(df=2/176) |
|---------------------|-----------|----|---------------|-----------------------|------------------------|---------------------------|
|                     |           |    |               | 適応変化(A)<br>(df=1/176) | 初期高低群(B)<br>(df=2/176) |                           |
| <b>SEL基礎的な社会的能力</b> |           |    |               |                       |                        |                           |
| 親和的な学級              | 高群        | 23 | 0.59 (4.13)   | 9.22 **               | 8.80 **                | 1.55                      |
|                     | 中群        | 21 | 1.61 (4.23)   |                       |                        |                           |
|                     | 低群        | 24 | 2.64 (4.39)   |                       |                        |                           |
| その他の学級              | 高群        | 40 | -1.95 (4.06)  |                       |                        |                           |
|                     | 中群        | 35 | -1.24 (3.57)  |                       |                        |                           |
|                     | 低群        | 39 | 2.28 (4.05)   |                       |                        |                           |
| <b>SEL応用的な社会的能力</b> |           |    |               |                       |                        |                           |
| 親和的な学級              | 高群        | 23 | 0.02 (3.89)   | 1.65                  | 4.39 *                 | 0.18                      |
|                     | 中群        | 21 | 0.28 (4.67)   |                       |                        |                           |
|                     | 低群        | 24 | 1.94 (5.38)   |                       |                        |                           |
| その他の学級              | 高群        | 40 | -1.42 (4.76)  |                       |                        |                           |
|                     | 中群        | 35 | -0.61 (3.36)  |                       |                        |                           |
|                     | 低群        | 39 | 1.55 (4.84)   |                       |                        |                           |
| <b>規範意識</b>         |           |    |               |                       |                        |                           |
| 親和的な学級              | 高群        | 23 | -0.412 (3.30) | 9.29 **               | 3.956 *                | 0.211                     |
|                     | 中群        | 21 | 0.574 (8.07)  |                       |                        |                           |
|                     | 低群        | 24 | 3.303 (6.45)  |                       |                        |                           |
| その他の学級              | 高群        | 40 | -3.537 (5.93) |                       |                        |                           |
|                     | 中群        | 35 | -1.819 (7.46) |                       |                        |                           |
|                     | 低群        | 39 | -0.431 (7.54) |                       |                        |                           |

+ p<.10, \* p<.05, \*\*p<.01

表7 教師自己評定の平均値とSD及び分析結果

|                    | 事前          | 強化後         | t値       |
|--------------------|-------------|-------------|----------|
| <b>教師用社会性と情動尺度</b> |             |             |          |
| 自己への気づき            | 3.31 (0.46) | 3.46 (0.50) | 0.65     |
| 他者への気づき            | 3.17 (0.32) | 3.56 (0.50) | 3.18     |
| 自己のコントロール          | 2.72 (0.80) | 3.56 (0.66) | 4.75 +   |
| 対人関係               | 4.00 (0.47) | 4.17 (0.42) | 5.00 +   |
| 責任ある意思決定           | 3.08 (0.34) | 3.58 (0.66) | 7.50 *   |
| 生活上の問題防止スキル        | 3.96 (0.64) | 3.92 (0.45) | 0.09     |
| 人生の重要事態に対処する能力     | 3.78 (0.46) | 4.33 (0.39) | 15.63 *  |
| 積極的・貢献的な奉仕活動       | 3.67 (0.85) | 3.92 (0.84) | 1.36     |
| 日常の指導力             | 2.11 (0.42) | 2.94 (0.80) | 12.10 *  |
| <b>SEL指導自己効力感</b>  |             |             |          |
| あいさつ               | 3.17 (0.55) | 4.08 (0.19) | 7.86 *   |
| 自己理解               | 2.92 (0.34) | 3.67 (0.37) | 45.00 ** |
| 聞き方                | 2.83 (0.55) | 4.17 (0.80) | 12.31 *  |
| 伝え方                | 2.42 (0.53) | 3.58 (0.45) | 17.50 ** |
| トラブル解決             | 3.33 (0.55) | 3.58 (0.87) | 0.43     |
| ストレス対処             | 2.67 (0.69) | 3.67 (0.55) | 10.00 *  |

+ p<.10, \*p<.05, \*\*p<.01

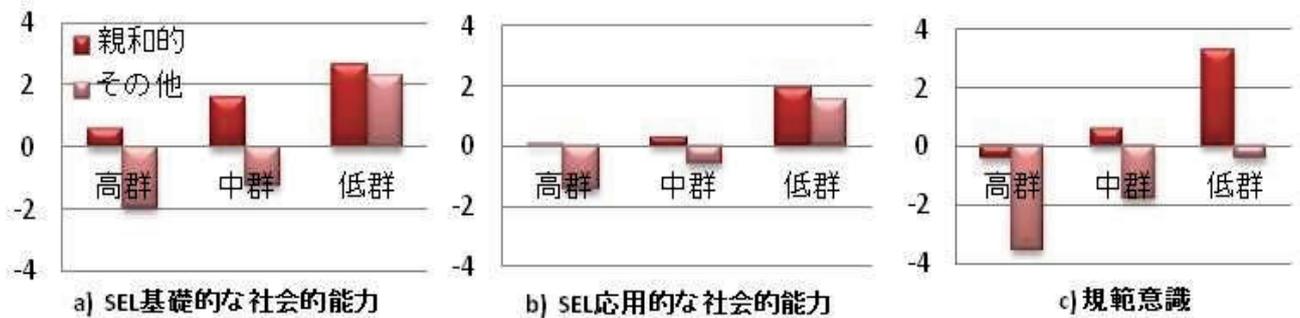


図4 学級適応感と社会的能力と規範意識の教師による個人評定

礎的な社会的能力」(表1の①～⑤の平均),「応用的な社会的能力」(表1の⑥～⑧の平均),「規範意識」の事前と強化後の偏差値の差を比較し,分散分析をおこなった結果を表6に示した(図4)。いずれの項目においても,親和型学級はそれ以外の学級よりも社会的能力と規範意識の得点が上昇していた。

(6) 教師のかかわり

SEL-8S プログラムの取り組みについてのアンケートについて,親和型学級の担任(2名)とその他の学級の担任(4名)とで,項目ごとに平均を比較した(図5)。親和型学級の担任は,「スキルを活用できている生徒に承認の声かけをした」,「スキルを活用できていない生徒にアドバイスを

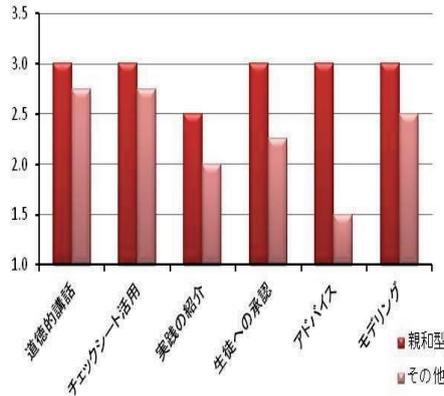


図5 強化期間中の教師の関わり

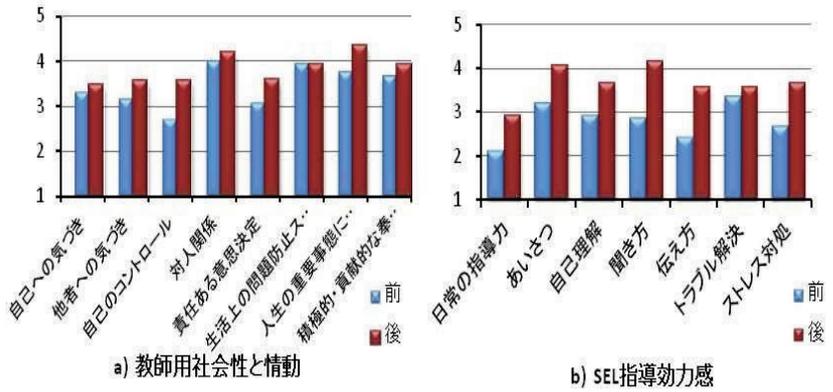


図6 教師用社会的能力と指導効力感の変化

した」, 「自分自身がスキルを意識して生活した」などの得点が高い傾向にあった。

### (7) 教師用社会的能力及び指導効力感

教師自身の社会的能力と、SEL の指導効力感について、若手教員に 2 回の調査を行った結果を表 7 に示した(図 6)。いずれについても上昇傾向にあり、社会的能力のうち、「自己のコントロール」、「対人関係」、「責任ある意思決定」「人生の重要事態における対処」が、有意に上昇していた。また、SEL の指導効力感についても「トラブル解決」以外のすべての項目で、有意に上昇が見られた。

## 4 考察

### (1) 生徒の社会的能力と規範意識の変容

生徒の自己評定では、低群の生徒に有意な社会的な能力と規範意識の向上が見られた。これは SEL-8S プログラムを学校行事と関連づけて実施することで、プログラムの実施効果が社会的能力の自己評価低群に現れやすい(宮原・小泉, 2009) ことを実証するものであった。高群の生徒は、授業直後に得点が低下していた。これは、高群の生徒が SEL-8S の学習を通してスキルが身につけていなかった自分に気づき、自己評価が厳しくなったためではないかと推測することができる。また、強化後の得点が上昇していることから、授業の直後や行事だけでなく、スキル再強化期間を別に設定することは意味があると考えられる。しかし、教師評定には全体的に変化が見られないこと、QU の学級生活満足度のプロット図からも学年全体での集団の凝集性の高まりは見とれないことから、行動面での変容にまでは至っていないと考えられる。

以上のことから、SEL-8S プログラムを効果的に活用し、スキルの強化・般化を図れば、生徒の社会

的能力が高まり、学級適応状態が向上するという仮説は、低群の生徒については支持されたが、中・高群に有意な向上は見られず、学級適応状態の向上にまでは至らなかったため、全体としては確認できなかった。

Elias ら(1999) は、エクササイズの効果が見れるまでには時間がかかると述べており、短期間の実践での生徒の社会的能力の変容は難しいことが分かる。

### (2) SEL-8S 学習プログラムの導入と活用

実践①, ②での「あいさつ」や「話を聞く」スキルは、社会生活を送る上での基礎的なスキルであるため、生徒が主体的に取り組むことができ、行事場面でもよく活用され、日常生活場面での般化に繋がった。一方、実践③, ④は、行事の取り組みの中で生じるであろうトラブルを軽減するための予防的なスキルだったが、必ずしも全員がスキルを活用できる場面に出会うとは限らず、再強化期間のチェックシートからは、生徒によってスキルの活用度に差がうかがえた。行事との関連性や、意図的なスキルの活用場面の設定を再検討する必要がある。

しかし、振り返りの学年会では「トラブルの防止はできなかったが、起こったことに対して冷静に考えさせる指導はできた。」という担任の声があった。機会利用型の指導に活用されていることがうかがえる。また、生徒のワークシートの記述から、1 学期にトラブルの多かった生徒 A は、自己を振り返り望ましいスキルを身に付けようと意識して行動したことがうかがえる(表 8)。生徒指導主事からも、2 学期の 1 学年生徒の様子は「例年の 1 年生と比較して反社会的な問題行動が少なかった。人間関係のトラブルは生じているが、さほど深刻ではない。発生件数も例年より少ない感じ。」とい

う声があり、SEL-8S プログラムの効果は広がりつつあるのではないかと考える。

今後の課題として、これまでの SEL-8S プログラムの実践例（小泉ら、2013）で、7 回以上のプログラムの実施により学習効果が高くなると述べられていることに基づき、年間を通じた計画的・継続的な授業実践が必要であると考えられる。

### (3) 若手教員の変容

心理教育プログラムの実践経験の少ない若手教員が多い学年教師集団であったので、模擬授業、板書計画、日常の生活場面への指導の在り方などを支援することは、役に立ったようである。生徒への SEL-8S の指導を通して、自身の社会的能力や指導力が向上したと感じていた（表 7, 図 6）。教師が自身のソーシャルスキルを高めることが、指導力の向上につながり（河村、2012）、日常的にスキルの活用を意識して生徒に働きかけることで、学級全体の社会的能力や規範意識の向上に影響を与えていると考えられる。

学校では毎年教員の異動があり、また年々若手教員が増加していることなどから、事前の研修を充実させることが重要である。

### (4) 今後の課題

実施するプログラムの内容と学校行事との関連、再強化期間の持ち方などを再検討し、全学年を対象に、年間を通じた SEL-8S プログラム（年間 10 回）として実施していく。また、継続的、効果的な実施のために、プログラムを年間指導計画の中に位置づける。さらに、プログラムの推進にあたり研修会を行ったり、教員の意識や関わり方について若手教員への具体的な支援を行ったりするコーディネーター的な役割の在り方についても検討を行いたい。

表 8 生徒 A のワークシートの記述

#### 9月30日「冷静に伝える」授業直後

今までぼくは赤で止まらずに、暴走ばかりして、人をなぐったりけったりヘッドロックをしたりしていた。赤で止まれなかったから、赤で止まって黄色、青となれるようにしたいです。

#### 12月17日強化後

こころの信号機やスケジュールのポイントなど、最初は意識をして考えながらやっていた。毎日継続してやっていたら、いつの間にか習慣になっていたから、これを今からずっとやっていきたいです。

## 5 引用文献

- 中央教育審議会 2012 教員の資質向上特別部会（第 11 回）配付資料
- Elias, M. J. 他 1999 小泉令三（編訳）社会性と情動の教育-教育者のためのガイドライン 39- 北大路書房
- 福岡県教育委員会 2007 福岡県いじめ問題総合対策-豊かな人間性を育む教育の推進-
- 香川雅博・小泉令三 2007 小学生における社会性と情動の学習 (SEL) プログラムの効果 福岡教育大学紀要, 56(4), 63-71
- 河村茂雄 2004 Q-U による学級経営スーパーバイズ・ガイド 図書文化
- 河村茂雄 2010 日本の学級集団と学級経営 図書文化
- 河村茂雄 2012 教師のためのソーシャルスキル 誠心書房
- 小泉令三・山田洋平 2011 社会性と情動の学習 (SEL-8S) の進め方 中学校編 ミネルヴァ書房
- 小泉令三・山田洋平・箱田裕司・小松佐穂子 2013 心理教育プログラムの実施回数による学習効果差の検討 日本教育心理学会第 55 回総会発表論文集, 342
- 升野邦江・小泉令三 2013 心理教育プログラムを効果的に活用するための中学校若年教師への支援の事例 日本教育心理学会第 54 回会発表論文集, 702
- 宮原紀子・小泉令三 2009 中学校の学校行事と関連づけた社会性と対人関係能力の向上 教育実践研究 (福岡教育大学教育学部附属教育実践総合センター), 17, 143-150
- 文部科学省 2008 年 中学校学習指導要領
- 山田洋平・小泉令三・中山和彦・宮原紀子 (2013) 小中学生用規範行動自己評定尺度の開発と規範行動の発達的变化 教育心理研究 VOL61, P387-397
- 山下健・小泉令三 2012 若年層教師の児童との関わりにおける社会的能力を向上させるための試行的取組 日本教育心理学会第 54 回総会発表論文集, 560,